

立野ダム建設事業の概要 及び工事の進捗状況について

令和5年 2月

九州地方整備局
立野ダム工事事務所

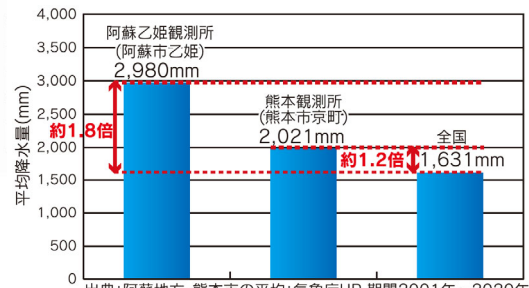
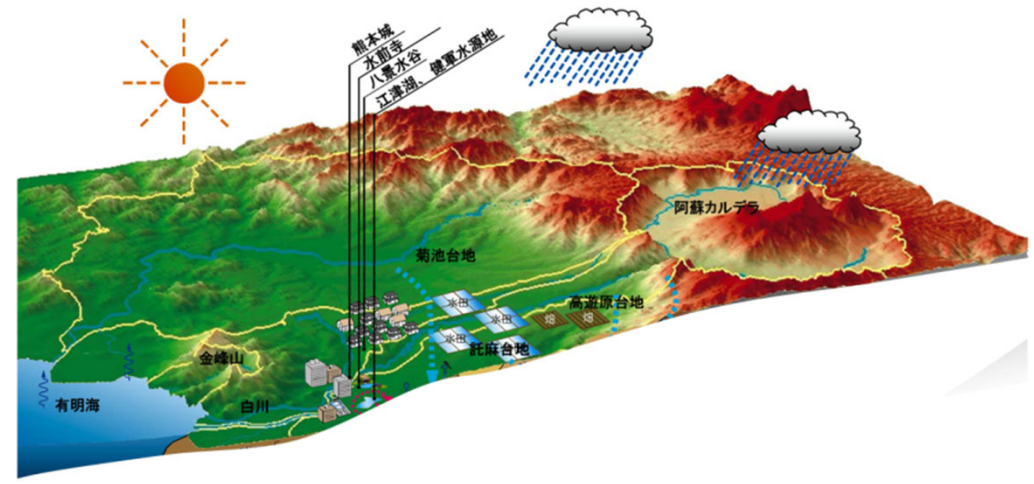
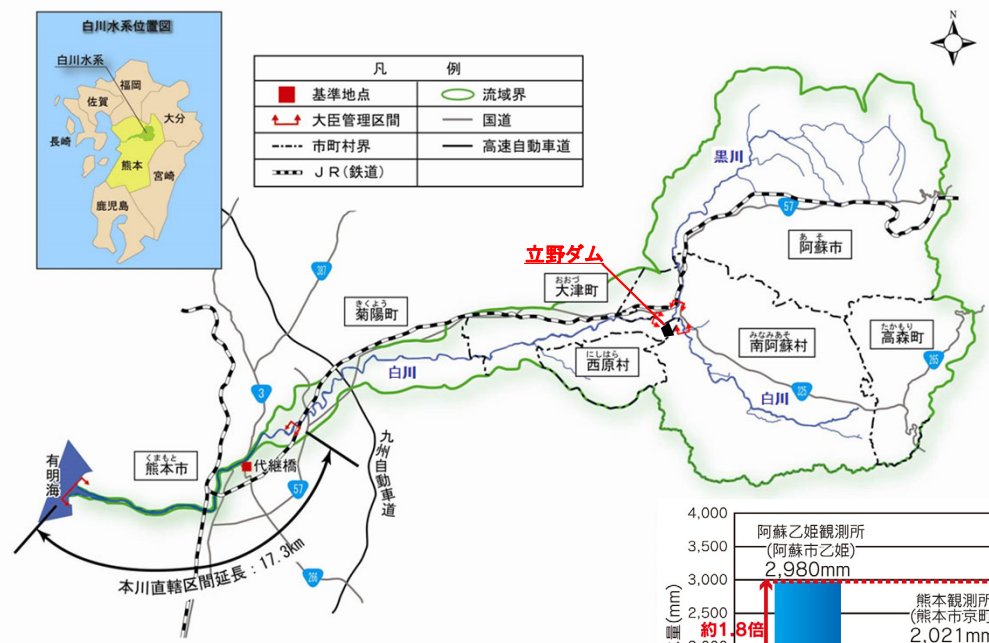


国土交通省

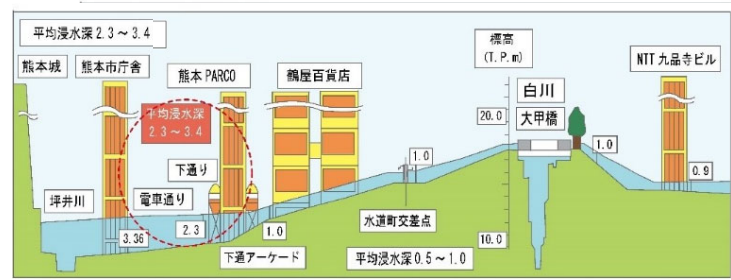
九州地方整備局

白川流域の概要

- 白川は、流域面積480km²、幹川流路延長74kmであり、流域の8割は、降雨量が多い阿蘇カルデラが占める。
- 降雨量は、全国平均に比べて熊本で約1.2倍、阿蘇で約1.8倍と多い。
- 下流は、九州第3の都市「熊本市」の中心部を流下しており、氾濫した場合の被害が広範囲に及ぶ。
- 上流の阿蘇地域は全域が「阿蘇・くじゅう国立公園」に指定されるなど雄大な阿蘇の景観が特徴となっている。



白川の断面と昭和28年の水害の水位



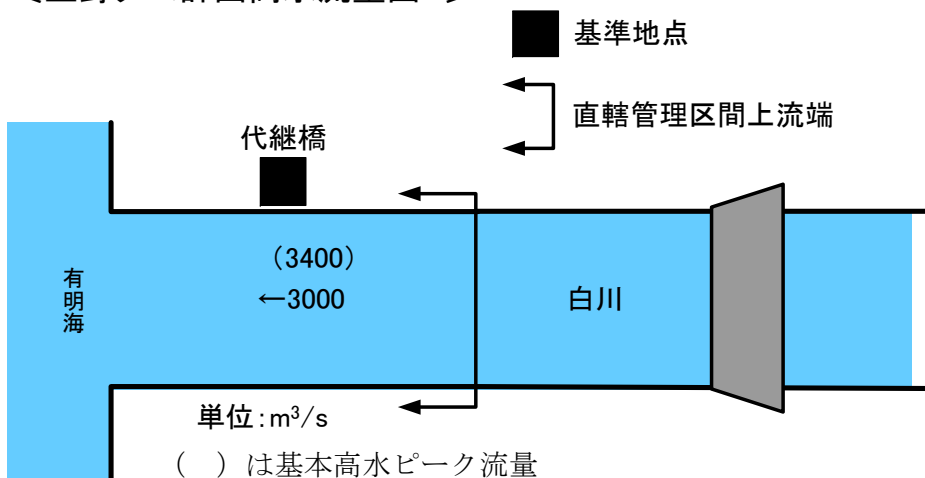
水源地	熊本県阿蘇郡高森町根子岳（標高1,433m）
流域面積	480km ²
長さ	74km
直轄管理区間	21.7km
流域市町村	熊本市、阿蘇市、菊陽町、大津町、高森町、西原村、南阿蘇村（2市3町2村）
流域内人口	約13.5万人 （河川現況調査：調査基準年H22）
想定はん濫区域面積	約136.4km ² （河川現況調査：調査基準年H22）
想定はん濫区域内人口	約31.4万人 （河川現況調査：調査基準年H22）



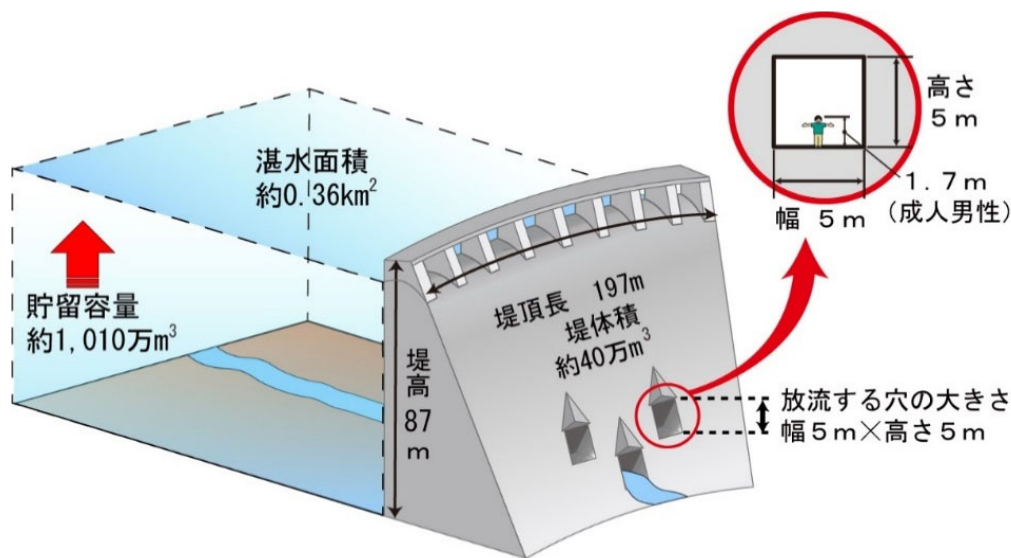
立野ダムの概要

よつぎばし
○基準地点(代継橋)における基本高水流量 $3,400\text{m}^3/\text{s}$ を、立野ダムにより $400\text{m}^3/\text{s}$ の洪水調節を行い、計画高水流量 $3,000\text{m}^3/\text{s}$ に低減し、洪水被害の防止又は軽減を図ることとしている。

〔立野ダム計画高水流量図〕



〔立野ダム貯水池容量配分図〕



〔事業諸元〕

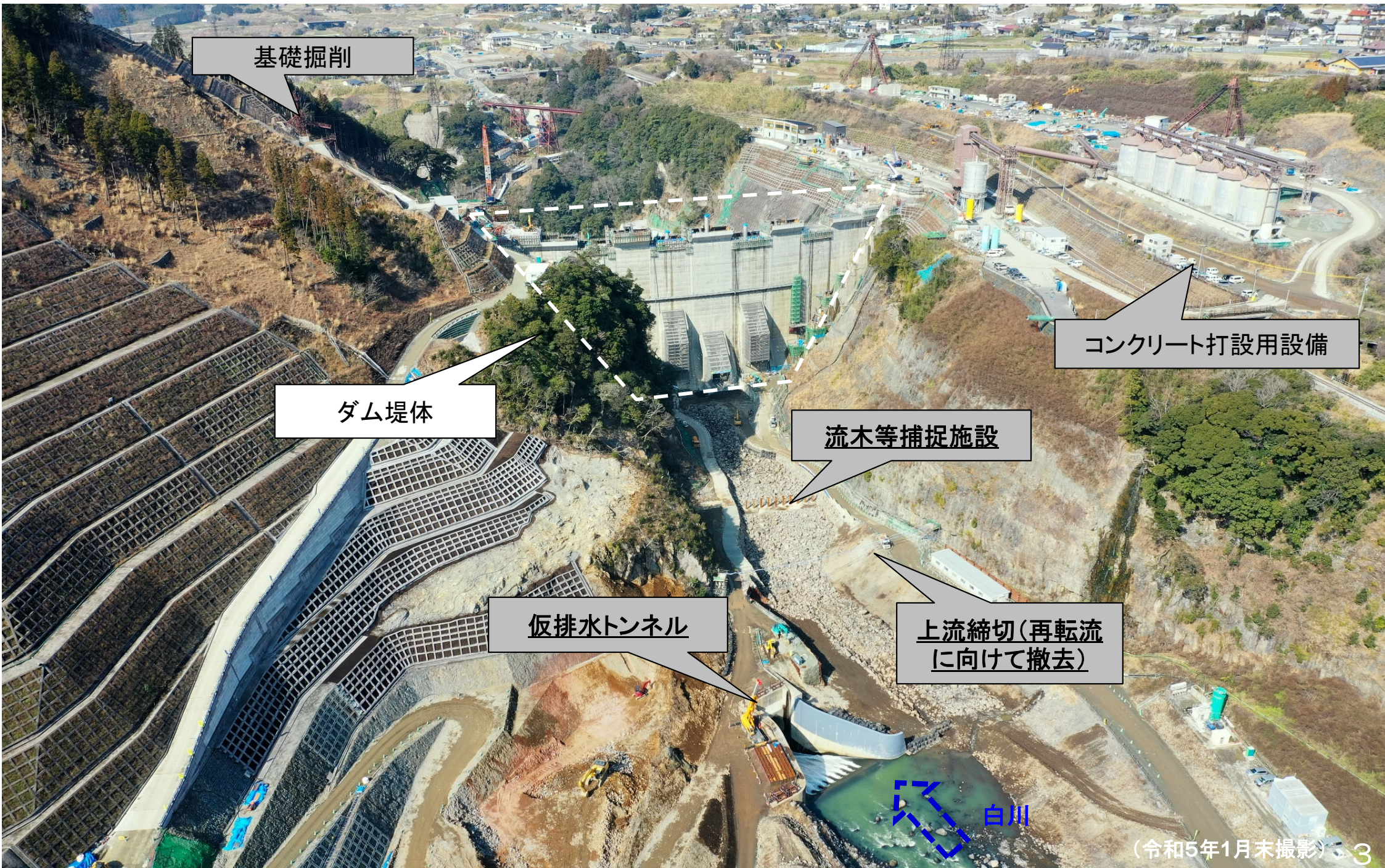
型式: 曲線重力式コンクリートダム
高さ: 87m
堤頂長: 197m
総貯水容量: 約 $10,100\text{千}\text{m}^3$

事業費: 約 $1,270\text{億円}$
工期: 令和5年度

〔事業の経緯〕

- ・昭和54年 4月 実施計画調査着手
- ・昭和58年 4月 建設事業着手
- ・昭和59年 9月 損失補償基準妥結(宅地・建物)
- ・平成 元年 5月 損失補償基準妥結(農地・山林)
- ・平成12年12月 白川水系河川整備基本方針策定
- ・平成14年 7月 白川水系河川整備計画策定
- ・平成22年12月 立野ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場
- ・平成24年12月 立野ダムのダム事業の検証に関する国土交通省の対応方針決定(事業継続)
- ・平成26年11月 仮排水トンネル工事着工
- ・平成28年 4月 熊本地震の発生
- ・平成28年7月～8月 「立野ダム建設に係る技術委員会」の開催
- ・平成30年 2月 立野ダム建設(一期)工事契約
- ・平成30年 3月 仮排水路トンネル完成
- ・平成30年 8月 立野ダム建設工事起工式
- ・令和 2年 1月 白川水系河川整備計画(変更)策定
- ・令和 2年10月 ダム本体コンクリート打設開始
- ・令和 3年 5月 立野ダム「定礎」

立野ダム本体工事(上流より下流を望む)

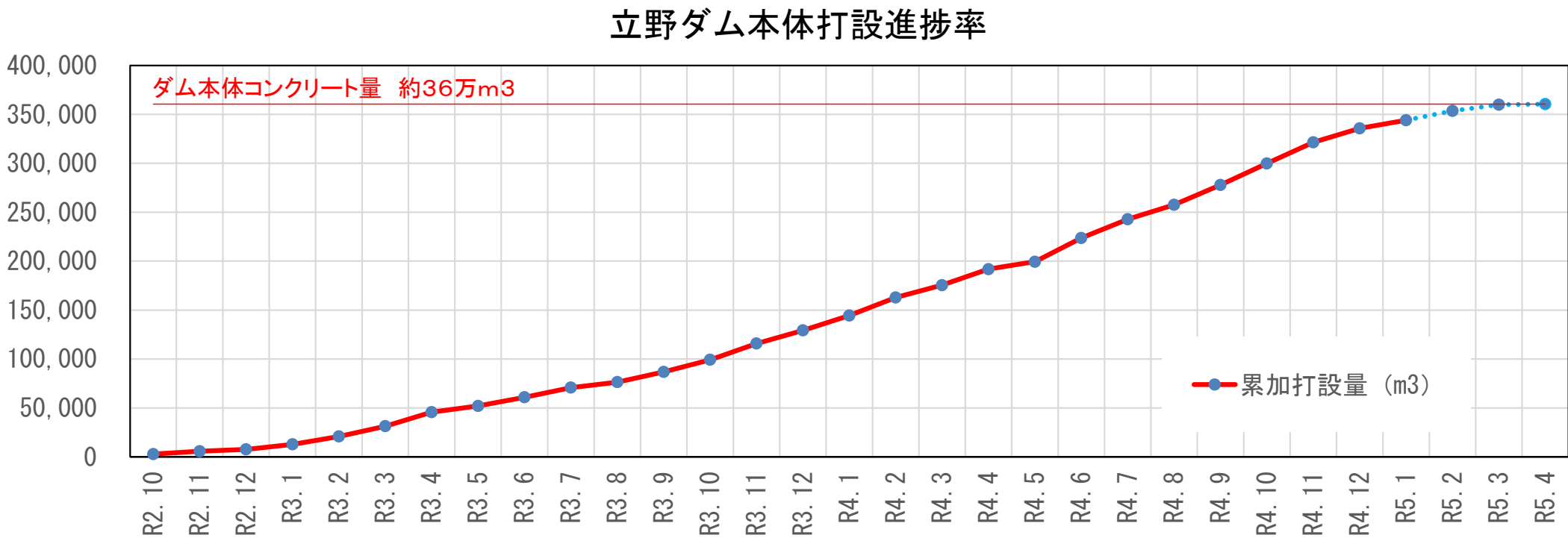


立野ダム本体工事(下流より上流を望む)



立野ダム本体打設の進捗状況について

○立野ダム本体コンクリート打設については令和2年10月より着手し、令和5年1月末時点で進捗率約95%。令和5年4月のダム本体コンクリート打設完了に向けて、順調に進捗している。



年月	累加打設量	進捗率
令和5年1月末時点	約34.4万m ³	約95%
令和5年2月末予定	(約35.3万m ³)	(約98%)

令和4年12月末時点



令和5年1月末時点(赤線より上部を打設)

